

D X・働き方改革推進基本方針及び アクションプラン2021の概要について

令和3年11月

富 山 県

検討経緯

- 6/4 **DX・働き方改革推進本部①**
- 6/11 **〃 推進委員会①**
 - ・6月～8月 **部局ヒアリング、検討**
- 9/6 **DX・働き方改革推進委員会②**
 - ・9/14 **部会①**
(行政DX、産業・地域社会DX、人材育成・働き方改革推進)
 - ・9/28 **部会②**
- 10/14 **DX・働き方改革推進委員会③**
 - (10/18～ **県成長戦略会議 各WG①**)

基本方針、アクションプランのポイント

◆DX・働き方改革推進基本方針

目的、3つの視点、ビジョン、推進体制など

アクションプラン2021

KPI、主な施策、工程、主管部局など

- ・位置付け: 県の総合計画や成長戦略の推進を加速させるもの
- ・計画期間: 令和5年度末まで → 概ね3年間
- ・基本方針: 適宜見直し、プラン: 毎年見直し

- ・目的を県民の「**真の幸せ (ウェルビーイング)**」の追求とし、
- ・**3つの視点で、**

- ① 県民目線: 県民・事業者目線、誰一人取り残さない、県民に分かりやすい説明
- ② スピード感: スモールスタート → 試行錯誤 → 小さな成功 → 大きな変革
- ③ 現場主義: 現場に答えがある、PDCAで常に検証

- ・**5つの「ビジョン」**(概ね3年後のありたい姿)の実現を目指し、

- ① 県民本位の行政サービスの実現
- ② デジタルによる県内産業の成長
- ③ デジタルによる持続可能な地域やまちづくり
- ④ 日本一のDX人材育成県
- ⑤ 働き方改革でゆとりある暮らしの実現

- ・**10の「リーディングプロジェクト」**(中長期)と、

- ・**85の「スモールスタート」**(早期の取組み→今年度実現)に取り組む。

- ・電子申請の拡大(単年で3,200件) ・AI議事録の活用
- ・Web会議の導入 ・部局におけるLoGoチャット運用ルールの策定 など

5つの「ビジョン」と10のリーディングプロジェクト

ビジョン(概ね3年後)の実現を目指し、10のリーディングプロジェクトを推進

ビジョン	リーディングプロジェクト
1 県民本位の行政サービスの実現	(1) スマート県庁推進プロジェクト
	(2) 誰一人取り残さないデジタル社会推進プロジェクト
2 デジタルによる県内産業の成長	(3) 産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト
	(4) スマート農林水産業推進プロジェクト
3 デジタルによる持続可能な地域やまちづくり	(5) DXによる関係人口創出・拡大プロジェクト
	(6) 県民健康増進プロジェクト
	(7) 学校教育情報化(教育DX)推進プロジェクト
	(8) DXによる安全・安心とやま推進プロジェクト
4 日本一のDX人材育成県	(9) 未来をリードするDX人材育成プロジェクト
5 働き方改革でゆとりある暮らしの実現	(10) 県民総参加の働き方改革プロジェクト

1 県民本位の行政サービスの実現

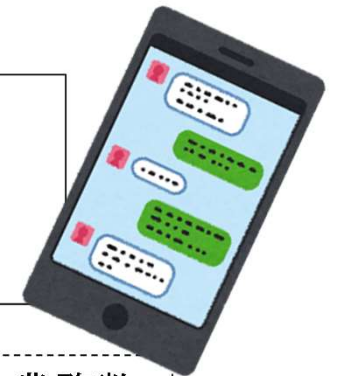
(1) スマート県庁推進プロジェクト

スマホやパソコンですべての補助金・交付金の電子申請が可能

電子申請対応手続数(累計):
〈R2〉102件→〈R5目標〉5,300件



AIチャットボットでいつでも様々な問い合わせに対応



AIチャットボットによる対応業務数
〈R2〉0件→〈R5目標〉全業務

(2) 誰一人取り残さないデジタル社会推進プロジェクト

健康保険証など、様々なシーンでマイナンバーカードを活用可能



マイナンバーカード取得率:
〈R2〉27.4%→〈R5目標〉90%~100%

デジタル活用の普及啓発が進み、高齢者はじめ県民誰もがスマホ等を通じて行政サービスを受けることができる



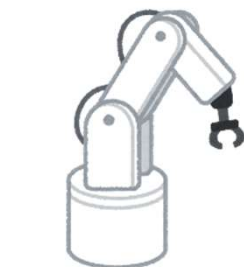
スマホ講座の開催市町村数:
〈R2〉2市→〈R5目標〉全市町村

2 デジタルによる県内産業の成長

(3) 産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト

県内企業が、デジタル化・DXの実装を意欲的に進め、生産性の向上や新分野進出、企業間連携が進展

県IoT推進コンソ会員企業のIoT導入率：
〈R2〉36%→〈R5目標〉44%



オープンデータ活用により、
ニュービジネスが創出

(4) スマート農林水産業推進プロジェクト

担い手不足等に
デジタル技術で対応し、農林
水産業の生産性が向上

スマート農機の普及台数：
〈R2〉350台→〈R5目標〉620台



3 デジタルによる持続可能な地域やまちづくり

(5) DXによる関係人口創出・拡大プロジェクト

デジタルマーケティングを活用し、
関係人口を創出・拡大

デジタルでの観光情報入手割合：
〈R2〉26.8%→〈R5目標〉40%



(6) 県民健康増進プロジェクト

自宅にしながら診察を受けられる
オンライン診療が充実

「とやま医療情報ガイド」に登録のある
オンライン診療を実施している
医療機関の数(累計)：
〈R2〉20件→〈R5目標〉30件



介護ロボットやICTの導入により
介護サービスの質の向上と
介護職員の負担軽減

ロボット・ICT導入支援件数(累計)
〈R2〉90件→〈R5目標〉477件



3 デジタルによる持続可能な地域やまちづくり

(7) 学校教育情報化(教育DX)推進プロジェクト

デジタルツールを活用し、
児童生徒の学習意欲が向上

授業にICTを活用して指導できる
公立学校教員の割合：
〈R2〉75.6%→〈R5目標〉91%



教員の多忙化解消により、
労務環境を改善し、生徒
と向き合う時間が拡大



公立学校教員の1カ月あたりの時間外在校等時間が
月45時間以内の割合：
〈R2〉40%→〈R5目標〉できるだけ100%に近づける

(8) DXによる安全・安心とやま推進プロジェクト

デジタル技術を活用し、公共
インフラの安全性が維持、向上

舗装路面画像解析延べ道路延長：
〈R2〉0km→〈R5目標〉6,750km

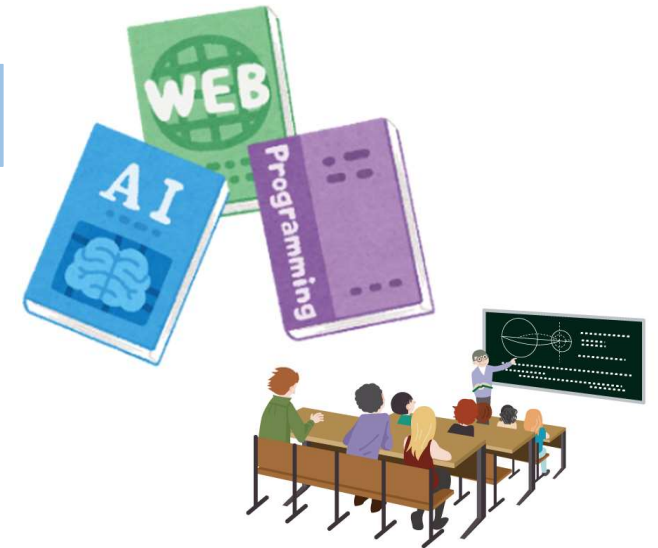


4 日本一のDX人材育成県

(9) 未来をリードするDX人材育成プロジェクト

県内高等教育機関等において、データサイエンティストなど多様なDX人材が育成され、産業の振興や地域課題の解決に貢献

国家試験(基本情報技術者試験)の人口100万人あたり合格者数:
〈R2〉144人→〈R5目標〉470人 ※日本一は東京都の463人(R2実績)



5 働き方改革でゆとりある暮らしの実現

(10) 県民総参加の働き方改革プロジェクト

県庁において、柔軟な働き方等が進み、職員の政策立案能力が向上するとともに、ワークライフバランスが実現

県庁において、デジタルツールを活用して業務を効率化した所属の割合:
〈R2〉(ー) → 〈R5目標〉100%

企業等において、DX・働き方改革の進展により労働生産性が向上するとともに、県民の家族との時間や地域活動、趣味の時間等が増大

県内企業の男性育児休業取得割合:〈R2〉8.1%→〈R5目標〉50%



DX推進目安箱の設置について

DX施策に対する県民や県内外の事業者の皆さんからのご意見・ご提案を受け付ける「**DX推進目安箱**」を設置します。

1 目的 県のDX施策の検討や実施に活かすため

2 ご意見・ご提案

- ・DX施策に対するご意見やご提言
- ・地域や企業におけるDX課題の解決に資するご提案

3 受付開始 **令和3年11月30日(火)**

4 提出方法

- ・県ホームページにて受け付けます

URL：<https://www.pref.toyama.jp/102001/kensei/kenseiunei/jouhouka/dx-meyasubako.html>

- ※ ホームページからの提出が難しい場合には、郵送により受け付けます
〒930-8501(住所記載不要) 富山県デジタル化推進室 DX推進目安箱 行き

5 担当 : デジタル化推進室